

令和8年度 事業計画

I. 基本方針

少子高齢化が進展する中、令和7年1月1日時点の大磯町の総人口は30,728人、60歳以上12,741人(男5,786人、女6,955人)となっており前年からほぼ横ばいの状況にある中、シルバー人材センターの会員数は132人(加入率1.03%)から令和8年3月末日時点の会員数130人と減少傾向にあります。さらに76歳以上は46.8%を占めることから、今後の会員増と同時に「年齢を重ねても働き続けることは、気力を保ち、元気であるために大切な要素なのだ」との認識に立ちより一層の取り組みを進める必要があります。

令和5年10月に施行された「消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)」への対応、令和6年11月から施行された「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律(フリーランス法)」を踏まえた新たな契約方法については、令和8年度は、これらの法に対応すべく円滑な移行が求められています。

「町民に愛されるシルバー」を目指して活動していきます。

II. 重点活動の取組み

1. 「新たな契約方法」への円滑な移行
2. 安全就業の推進
目標:「事故ゼロ・クレームゼロ」
3. 会員の拡大
会員総数 令和8年3月末会員数130名に対し135名以上の
会員登録を目指す。
特に女性会員拡大に向けた一層の取組み強化
4. 会員の健康確保と認知症対応
新たに「認知機能低下による働き方」についての取組み
5. 業務の効率化等のためのデジタル化の推進

1 「新たな契約方法」への円滑な移行

契約方法の見直しについては、消費税負担軽減のための活動として最重点の取り組みであります。令和7年度においては一部の民間企業との合意にとどまり、完全移行にいたらない状態にあります。

令和8年度は令和9年4月スタートに向け努めていきます。

2 安全就業の推進

安全・安心なシルバー事業はシルバー事業遂行の根幹をなすものであることから、安全管理委員会により推進される「令和8年度安全目標と取り組み」に基づき一層の推進を図ります。特に損害賠償事故が多く発生している刈払機における事故防止対策を徹底し「事故ゼロ」を目指していきます。

1) 傷害・賠償事故「ゼロ」を目指します。

特に刈払機による飛び石事故「ゼロ」、ハチ刺され事故「ゼロ」

2) 交通・就業途上事故「ゼロ」

3) 危険予測の励行

4) 安全就業パトロールの実施

5) 熱中症対策として塩分及びミネラル補充用タブレットを配布。

7月～9月の就業日数制限

3 会員の拡大

令和8年度においては令和9年3月末135名以上の増員目標を掲げていきます。

リーフレットの更新、町の広報誌・回覧等の活用、シルバーの活動を町民の方に周知していく各種イベントへの参加。

加齢による退会への防止策として就業機会が減少しても働ける環境作りを推進していきます

「会員による一人1名新規入会」運動は継続します。

4 会員の健康確保と認知症対応

健康を保ち生きがいに満ちた安全就業ができる環境作り

1) 健康管理の推進

加齢と共に体力・気力の衰えや物忘れが進行する。このような状態の中で健康維持は大切なことであり年一回の「健康診査」「がん検診」

の受診を支援するために、受診料補助も従来通り実施します。

2) 認知機能低下があってもできる仕事を仲間とともに工夫します。

認知症への理解を進めるための研修会参加や講習会開催に努めます。

5 業務の効率化等のためのデジタル化の推進

スマイル T0 スマイルを導入して早2年が経ち、ペーパーレスの取り組みを実施していきます。具体的には「配分金明細書」「事務局だより」が対象となります。